

平成 29 年度気仙沼高等学校「総合学習発表会」・第 2 回防災フォーラムに参加しました (2018/3/17)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育
場所：宮城県気仙沼高等学校（宮城県気仙沼市）

3月17日（土）に，宮城県気仙沼高等学校にて平成29年度気仙沼高等学校「総合学習発表会」・第2回防災フォーラムが行われました。同校は，スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは，文部科学省の事業で，高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して，生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高校は，「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH事業に採択されています。

第1部は，1年間の活動の総まとめとして，同校のほか，気仙沼西高等学校，階上中学校，気仙沼中学校，松岩中学校の生徒が日頃の研究や活動についてポスター発表を行いました。第2部は，同校生徒のほか，気仙沼市内に住む外国人3名，市職員をパネリストにしたパネルディスカッションが行われ，当研究所の川島秀一教授（人間・社会対応研究部門）がコーディネーターをつとめました。また，会合全体を通しての講評を，佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が最後に行いました。寒い中にも関わらず，多くの参加，多くの質疑応答があり，会場は熱気につつまれました。



川島秀一教授（PD コーディネーター）



パネルディスカッションの様子



会場・ポスター発表の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）